

つみたて投資枠の商品を選んだ理由について

「つみたて投資枠」は長期運用・資産分散・時間分散により、投資リスクを低減しながらリターンを目指す制度であることから、商品選定にあたっては、長期運用と資産分散の観点を重視しました。

なお、当行における「投資信託定期・定額購入サービス」では、毎月の積立金額は、1千円以上となっております。

つみたて日経 225 インデックスファンド

- 日経平均株価（225種）に連動するため、これから投資を始められる方にも値動きがわかりやすい商品です。
- 日本株式は短期的には上昇と下落を繰り返しながらも、長期的には日本経済の成長とともに上昇していることから、時間を分散しながら長期にわたり保有するメリットが高い投資対象です。

米国株式インデックス・ファンド

- 米国株式の代表的な 500 銘柄で構成される株価指数である S&P500 指数（円ベース）に連動するため、これから投資を始められる方にも値動きがわかりやすい商品です。
- 米国は、GDPで世界の約4分の1を占める経済大国であり、米国企業はこれまでも変化の波を捉え、世界の産業界のけん引役として役割を担ってきており、長期的には世界経済の成長とともに上昇していることから、投資初心者の方から経験豊富な方まで幅広く保有していただける商品であると考えています。

野村インデックスファンド・米国株式配当貴族

- S&P500 配当貴族指数とは、S&P500 指数の構成銘柄のうち 25 年以上連続で増配している銘柄を対象として算出されます。
- 米国株には、増配を続ける企業が多くあり、私たちの生活の身近にあり、長期的にパフォーマンスが高い銘柄もあります。配当効果についても、長期になればなるほど配当の複利効果が発揮され、パフォーマンスに寄与することが期待されることから、長期にわたり保有するメリットが高い投資対象です。

iFreeNEXT NASDAQ100 インデックス

- NASDAQ100 指数は、米国のナスダック市場に上場している時価総額の大きい非金融業 100 社を対象として算出されます。
- NASDAQ100 では、私たちのライフスタイルやビジネスを大きく変える革新的なサービスを提供する企業を早期に取り入れ、その成長を享受することが期待できることから、長期にわたり保有するメリットが高い投資対象です。

全世界株式インデックス・ファンド

- 日本・新興国を含む世界約50か国、2,000銘柄以上の株式に投資し、この商品1つで世界株式の分散投資が完結できます。
- 世界株式は短期的には上昇と下落を繰り返しながらも、長期的には世界経済の成長とともに上昇していることから、時間を分散しながら長期にわたり保有するメリットが高い投資対象です。
- 業種別・国別配分についても、時価総額の変動により中長期で自動的にリバランスされることから、投資初心者の方から経験豊富な方まで幅広く保有していただける商品であると考えています。

eMAXIS TOPIX インデックス

- 東証株価指数 (TOPIX) は、日本の株式市場を広範に網羅しており、この商品1つで身近な国内株式の分散投資が完結できます。
- 日本株式は短期的には上昇と下落を繰り返しながらも、長期的には日本経済の成長とともに上昇していることから、時間を分散しながら長期にわたり保有するメリットが高い投資対象です。
- 業種別配分についても、時価総額の変動により中長期で自動的にリバランス (調整) されることから、投資初心者の方から経験豊富な方まで幅広く保有していただける商品であると考えています。

eMAXIS NY ダウインデックス

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均とは、輸送株と公益株以外の商品とサービスを提供する米国の上場銘柄から、米国を代表する優良30銘柄を選出し、指数化したものであり、構成銘柄は企業の継続的な成長性や時代の流れに合わせて適宜入替えがおこなわれることから、長期にわたり保有するメリットが高い投資対象です。
- 米国は、GDPで世界の約4分の1を占める経済大国であり、米国企業はこれまでも変化の波を捉え、世界の産業界のけん引役として役割を担ってきており、長期的には世界経済の成長とともに上昇していることから、投資初心者の方から経験豊富な方まで幅広く保有していただける商品であると考えています。

eMAXIS 新興国株式インデックス

- 新興国の様々な地域の1,000銘柄以上の株式に投資し、この商品1つで新興国株式の分散投資が完結できます。
- 新興国株式は短期的には上昇と下落を繰り返しながらも、長期的には新興国経済の高い成長とともに上昇していることから、時間を分散しながら長期にわたり保有するメリットが高い投資商品です。

SMT 世界経済インデックス・オープン

- 世界（先進国(日本を含む)・新興国）の様々な地域の株式と債券に投資します。
- 投資資産の割合は株式と債券に半分ずつ、投資地域はGDP（経済規模）の変化に応じて、年1回見直しをします。
- 株式や債券は値動きの特性は異なりますが、長期的には世界経済の成長とともに上昇しています。
- 各国のGDPの成長や割合に応じて、資産配分が定期的に自動でリバランスされます。資産と地域の組合せで4資産均等分散や8資産均等分散とする場合に比べて、GDP比に応じた地域配分とすることで、中長期での世界経済の変動に対応可能な仕組みとなっており、投資初心者の方から経験豊富な方まで幅広く保有していただける商品であると考えています。